西新宿スマートシティプロジェクト

～「つながる街」西新宿を目指して～

令和4年度 第3回協議会

2023年3月28日（火）
（10:30～11:45）

R4年度第3回協議会 議事次第

議事次第

1. 開会の挨拶 《5分 – 累計5分》
2. 協議会参加者の紹介 《1分 – 累計6分》
3. スケジュールの確認、第2回協議会の振返り 《2分 – 累計8分》
4. 取組・成果の報告 《36分 – 累計44分》
   - 4-1.【重点ポイント①】広報・巻き込み活動・発信の強化 ・・・8分
   - 4-2.【重点ポイント②】プロジェクトの都市実装に向けた取組推進 ・・・24分
   - 4-3.【重点ポイント③】協議会の持続的な運営に向けた検討 ・・・4分
5. 今後の方針 《8分 – 累計52分》
6. 意見交換 《20分 – 累計72分》
7. 閉会の挨拶 《3分 – 累計75分》

1. 開会の挨拶

2. 協議会参加者の紹介

3.スケジュールの確認、第2回協議会の振返り

西新宿スマートシティ協議会について

「西新宿に関わる人のQOL向上に貢献」という協議会の目的達成に向け、課題解決策の推進や広報活動を通じた機運醸成を図る

西新宿スマートシティ協議会の活動目的

「デジタル技術を利活用することで人と人、人と都市をつなげ、西新宿に関わる人のQOL向上に貢献」

都市サービスの創出

コミュニティによるまちづくり

課題解決PT

優先して解決すべき課題に対する施策の企画・実行

- ①地域の魅力創出
- ②認知度向上・地域への参画促進
- ③移動環境の整備
- ④新たなワークスタイルの確立

広報・巻き込みTF

協議会の関心喚起
＋
西新宿の方々の巻き込み

課題解決のサポート

課題の連携

ニーズの連携

都市OS検討PT

エリア共通の基盤の企画・整備

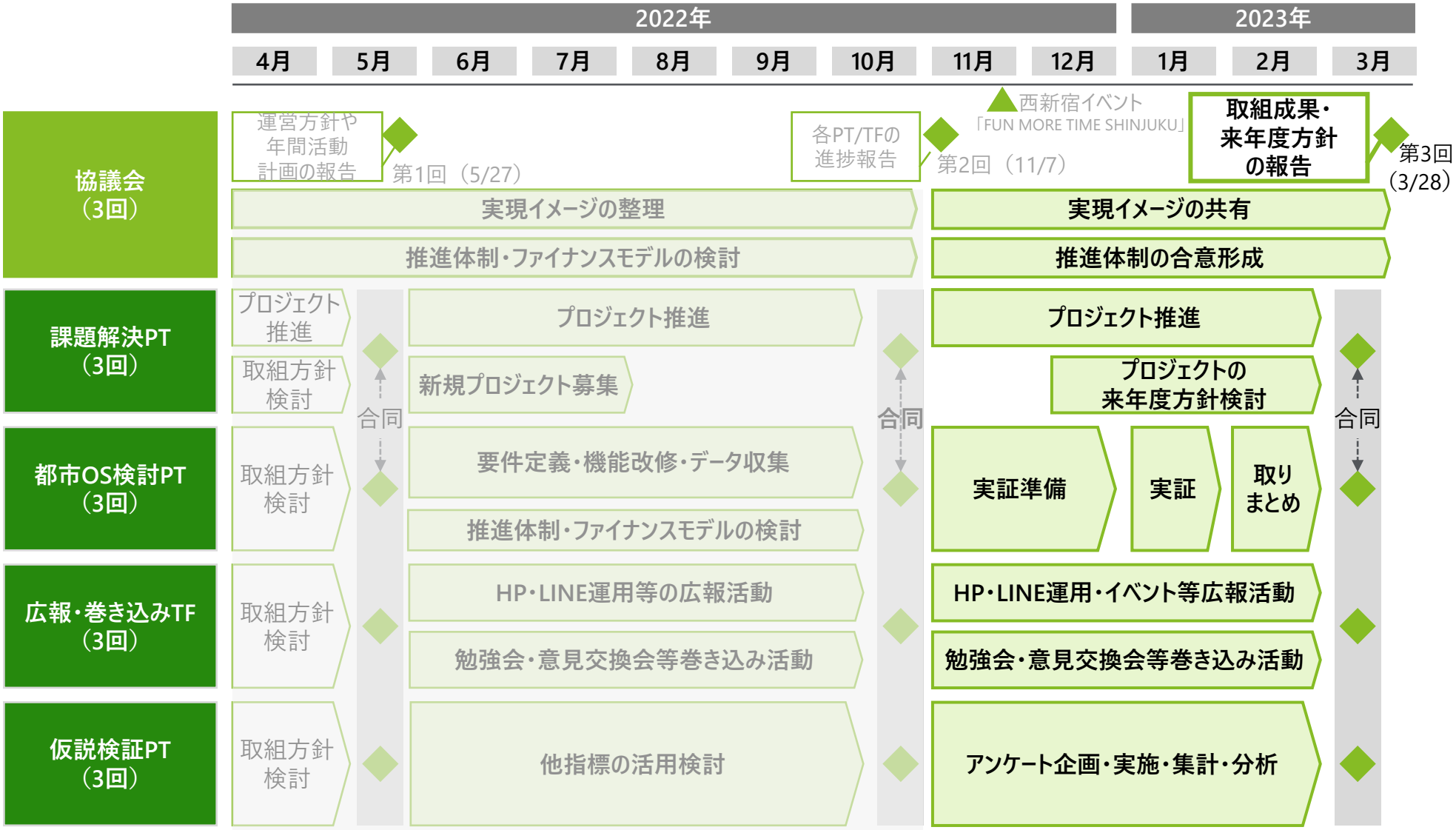
- ⑤エリア共通基盤の整備

仮説検証PT

西新宿の課題・認知度の確認
＋
取組効果検証

R4年度協議会スケジュール

今回は今年度最後の協議会であり、各取組の成果・来年度方針を報告する



協議会設立から3年目さらに魅力ある西新宿の実現に向け協議会活動を次のステージへ!!

重点ポイント	活動方針	報告事項
①広報・巻き込み活動、発信の強化	■ 協議会活動の認知度向上を図る ■ 意見交換会などの取組から、協議会活動への意見の反映を図る	■取組成果・課題の報告 ■来年度方針の共有
②プロジェクトの都市実装に向けた取組推進	■ プロジェクト間で連携することで取組や広報効果を拡充し、都市実装を促進する	
③協議会の持続的な運営に向けた検討	■ スマートシティ化を実感できる実装イメージを共有する ■ 持続的な協議会運営を目指す	■検討状況の共有 ■今後の組織体制の共有

4. 取組・成果の報告

4-1.【重点ポイント①】広報・巻き込み活動、発信の強化

4-2.【重点ポイント②】プロジェクトの都市実装に向けた取組推進

4-3.【重点ポイント③】協議会の持続的な運営に向けた検討

活動サマリ

R2年度～R4年度の活動サマリ｜広報活動

凡例	
	新しい取組
	継続した取組

【重点ポイント①】広報・巻き込み活動、発信の強化

			R2年度	R3年度	R4年度
広報活動	**協議会HP** 協議会に関する正確かつ詳細な情報を提供		HP設立	継続的な情報発信	
	LINEアカウント コミュニティメンバー※1に対してタイムリーに情報を提供		LINE アカウント 開設	継続的な情報発信	
	西新宿LOVEWalker 協議会の活動を認知していない層に対して情報を提供		西新宿 LOVE Walker 開設	継続的な情報発信	
	スマートシティ通信 チラシ形式で西新宿の方々にとってわかりやすい情報を提供				スマートシティ通信創刊・定期発行

※1.協議会公式LINEのお友だち

R2年度～R4年度の活動サマリ｜巻き込み活動

凡例	
	新しい取組
	継続した取組

【重点ポイント①】広報・巻き込み活動、発信の強化

巻き込み活動		R2年度	R3年度	R4年度
意見交換会 西新宿の人々からサービスや課題に対する意見を収集			意見交換会の開催（1回）	継続開催（4回）
勉強会 協議会関係各社の持つ知見を共有			勉強会の開催（6回）	継続開催（3回）
イベント連携 協議会の取組を認知、体験していただく機会を提供		なるほど博へ出展	Smart City WEEKの主催 5G Connected Cityへ出展	スマートシティフェスタへ出展

【重点ポイント①】広報・巻き込み活動、発信の強化

R4年度後半の主な取組

- 「スマートシティフェスタ」にコンテンツを出展
- コミュニティメンバー参加の意見交換会を2回実施
- 西新宿スマートシティ通信を継続発行

スマートシティフェスタの様子

意見交換会の様子

西新宿スマートシティ通信

vol. 4 | 2022年11月

人とつながる 街とつながる 西新宿

スマートシティフェスタ事務局
榎本 徹さん、殿納 弘崇さん
（東京都デジタルサービス局）

次世代モビリティプロジェクト
松村 昭仁さん
（損害保険ジャパン株式会社）

スマートシティフェスタ開催！

まちのインフラと協調した自動運転移動サービスの実証実験の様子

今月のコンテンツ

01 ホットトピック
西新宿ユーザーが求める情報や使用している情報収集媒体についてのヒアリング、西新宿に関する記事の構成案の作成を行う意見交換会を開催しました！

02 課題解決プロジェクトの紹介
損害保険ジャパン株式会社による、自動運転車などの次世代モビリティを利用して、目的地まで安心・安全・快適に移動できる状態を目指す「次世代モビリティプロジェクト」をご紹介！

03 お知らせ
11月25日（金）から27日（日）に、新宿住友ビル三角広場等で「スマートシティフェスタ」を開催します！ぜひご参加ください！

LINE公式アカウントに登録を！
1.右のQRコードを読み取って登録
2.LINEで「LINE ID「@144acxtz」を検索

裏面もご覧ください

「スマシー」
©新宿副都心エリア環境改善委員会

発行：西新宿スマートシティ協議会事務局（東京都・新宿副都心エリア環境改善委員会）

広報・巻き込み活動実績

スマートシティフェスタの開催概要

西新宿で実装を目指すスマートサービスの体験を目的とした「スマートシティフェスタ」を東京都主催で開催し、協議会もコンテンツ出展等で参画

対象	■西新宿の方々、都民 ■西新宿の取組に関心のある企業、自治体
日程	■2022年11月25日（金）～27日（日）
開催場所	■メイン：新宿住友ビル三角広場 ■サブ：新宿駅西口広場イベントコーナー
主催者	■東京都 デジタルサービス局
主な実施内容	■東京都が目指すスマートシティに関するトークセッション ➢西新宿スマートシティを紹介するトークセッションを実施 ■地元企業が実装を目指すスマートサービスの体験ブース ➢協議会事務局・プロジェクトリーダーでコンテンツを出展 ■西新宿スマートシティの取組を紹介する自治体職員向けツアー ➢協議会事業、スマートポール事業の紹介プレゼンを実施

自動運転車展示の様子

意見交換会の実施状況 1/2

協議会LINEの魅力的な運用方法について検討する意見交換会を実施

意見交換会（R4年度第3回）

メディアのプロからSNS運用のコツを学んで魅力的な発信を考えよう！

【日時】2023年1月18日（木）
【場所】NEUU
【主催】協議会事務局
【共催】角川アスキー
【参加者】13名

【実施内容】
- 普段のSNS利用方法、発信の工夫に関する意見交換
- 角川アスキー担当者が、SNS運用のコツをレクチャー
- 協議会LINEをテーマに、発信テーマ・文面・イラスト案を作成

【出た意見】
〈内容〉
- 意見募集などに対する参加ハードルが高い
- コミュニティーメンバーにとってメリット（クーポンなど）や、意見へのフィードバックがあるとよい

〈表現方法〉
- 文字数が多い
- 絵文字や動画を利用したほうがよい
- 詳細を見るために別画面を開くことにストレス
- 意見収集は、投票など簡易なやり方が良い

意見交換会の実施状況 2/2

西新宿における未来のスマートサービス、生活様式を検討する意見交換会を実施

意見交換会（R4年度第4回）

西新宿でもっと便利で快適に過ごしたい人集合！“スマートシティ”での過ごし方を想像しよう

【日時】2023年3月2日（木）
【場所】NEUU
【主催】協議会事務局
【参加者】8名

【実施内容】
- 協議会の活動、西新宿再整備方針の説明
- 「交流する」「移動する・食事する」をテーマに、未来の西新宿のサービス案を意見交換
- サービス案をもとに、10年後の西新宿での過ごし方を検討

【出た意見】
- まち全体で顔認証を利用する
（過去の来店データからAIによるおすすめのお店の提示、決済、似た嗜好を持つ人のマッチング等に利用）
- スマートポールが翻訳機能を備え、なんでも教えてくれる
- 公園・歩道に芝を整備し、犬と一緒に遊べるようにする
- 暗い道の対策としてプロジェクションマッピングを行う

勉強会の実施状況

西新宿魅力化の検討や、地域課題を解決する無線技術についての勉強会を実施

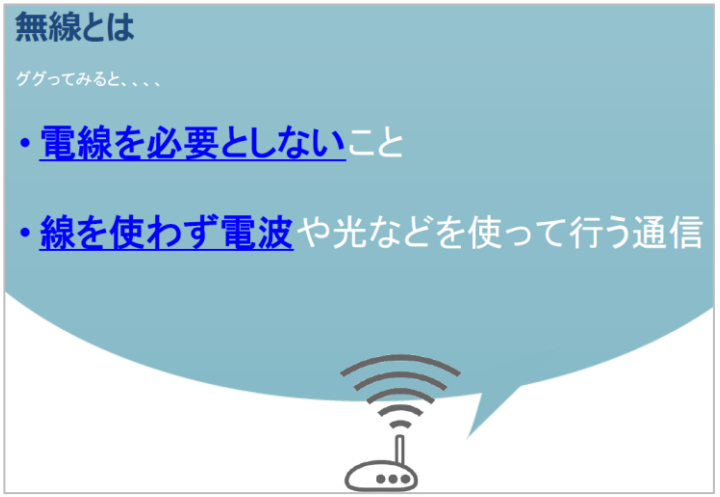
勉強会

エリアクオリア指標を活用した西新宿魅力化の検討（R4年度第2回）

【日時】2022年11月29日（火）
【場所】NEUU
【主催】大成建設、小田急電鉄
【共催】国際文化都市整備機構
【アジェンダ】
- エリアクオリア指標の紹介
- 西新宿の街づくり活動の紹介
- ワークショップによるアイデア抽出

地域課題を解決する無線技術（R4年度第3回）

【日時】2023年2月1日（水）
【場所】オンライン
【主催】東日本電信電話
【アジェンダ】
- 無線/WiFi/LPWA/ローカル5Gについて



西新宿スマートシティ通信での広報

R4年度からの新たな取組として、西新宿の方々向けの広報用チラシを作成。全9本を発行し、西新宿のビル等で掲載

西新宿スマートシティ通信

西新宿スマートシティ通信

vol. 7 | 2023年2月

人とつながる 街とつながる 西新宿

西新宿CAMPプロジェクト
江島 啓さん
（株式会社KDDI総合研究所）

西新宿CAMPプロジェクト
村上 拓也さん
（大成建設株式会社）

ワークスペースのイメージ

ジョブマッチングのイメージ

今月のコンテンツ

01 ホットトピック
「魅力的なSNSでの発信」をテーマに、ワークショップ形式で、西新宿生活者の皆さまと意見交換会を行いました！

02 課題解決プロジェクトの紹介
（株）KDDI総合研究所と大成建設（株）による、特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、エリア内外のワーカーが高い生産性で働けている状態の実現を目指す「西新宿CAMPプロジェクト」をご紹介！

03 お知らせ
西新宿で生活する上での課題を知り、今後の協議会活動に生かすために、生活者アンケート調査を実施します。

04 お知らせ
西新宿で暮らす中で困っていること、もっとこうなったらいいのにと思うことについて意見交換し、未来の西新宿を想像する意見交換会を開催します。

LINE公式アカウントに登録を！
1.右のQRコードを読み取って登録
2.LINEでLINE ID「@144acxtz」を検索

裏面もご覧ください

「スマシー」
©新宿副都心エリア環境改善委員会

発行：西新宿スマートシティ協議会事務局（東京都・新宿副都心エリア環境改善委員会）

西新宿スマートシティ通信 vol.7 | 2023年2月

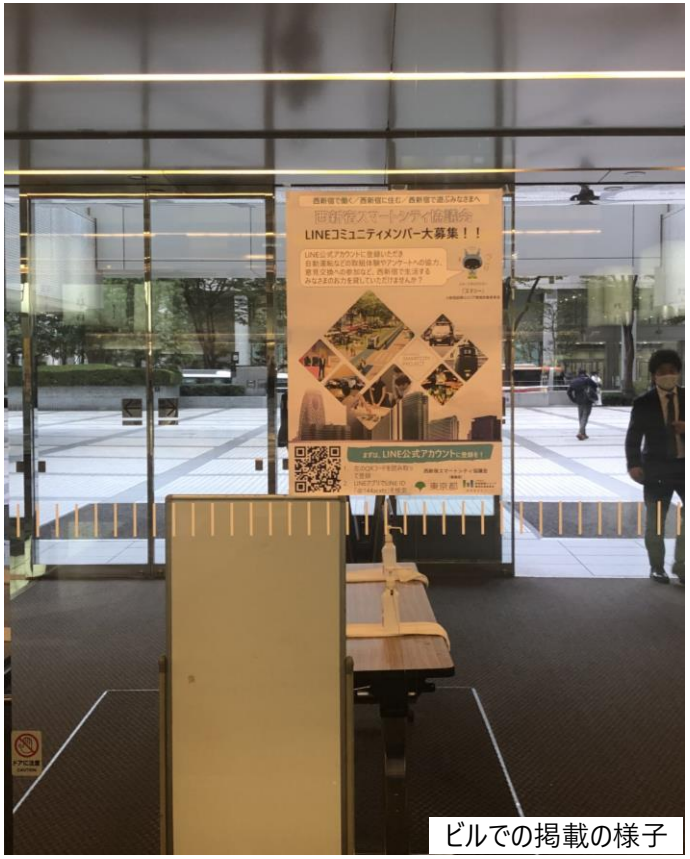
01 ホットトピック“意見交換会”
1/18（水）、「SNS運用をしている人集合！メディアのプロからSNS運用のコツを学んで魅力的な発信を考えよう」というテーマで意見交換会を開催しました。当日はメディアのプロである（株）角川アスキー総合研究所様からSNS運用のコツを学び、協議会のLINE公式アカウントの改善案を検討しました！
幅広い年代の方にご参加いただき、「絵文字を入れた方がよい」、「地元のイベントや飲食店を紹介するとよい」などの声をいただきました。いただいた意見をもとに、協議会公式LINEの改善に取り組みます。

02 課題解決プロジェクトの紹介 “西新宿CAMPプロジェクト”
エリア内外のワーカーが、特定のオフィスに限らず高い生産性で働ける環境の実現を目指して（株）KDDI総合研究所と大成建設（株）が共同で、屋外ワークスペースの設置とジョブマッチングに取り組んでいるプロジェクトです。
2021年度は、屋外でも快適にオンラインのグループワークができる空間の実証を実施しました！2022年度は自己成長・価値観のアップデートをし続けるワークスタイルの実現のために、内省（リフレクション）を行える空間の実証を予定しています。
2021年度実証

03 お知らせ “生活者アンケートご協力のお願い”
今年度も2月中旬より、西新宿で生活する上での課題の把握や取組の効果検証を行うため、生活者の方々に対するアンケート調査を実施します。
アンケートの詳細は協議会のLINE公式アカウントにてお知らせするので、ぜひ、表面からLINEのご登録をお願いします！

04 お知らせ “意見交換会”
西新宿でもっと便利で快適に過ごしたい人集合！
“スマートシティ”での過ごし方を想像しよう
西新宿で暮らす中で困っていること、もっとこうなったらいいのにと思うことはありませんか？
西新宿で生活する方同士で交流しながら、参加される皆さまで決めたテーマ※について、デジタル技術を使って実現する未来の西新宿を一緒に考えましょう！
■ 日時　：3/2（木）18:30~20:15（受付開始18:15）
■ 場所　：NEUU（新宿区西新宿1-5-11　新宿三葉ビル1階）※小田急ハルク横
■ 参加費　：無料
■ 申込期限：2/27（月）18:00まで
■ 参加方法：URLもしくはQRコードからご応募ください！　https://forms.office.com/e/Gh2yikB2ZE
意見交換会で出た意見は協議会活動の参考にさせていただきます。
※申し込みフォーム内で希望のテーマを回答いただき事務局で決定します。必ずしも希望のテーマにならない旨、ご了承ください。

発行：西新宿スマートシティ協議会事務局（東京都・新宿副都心エリア環境改善委員会）



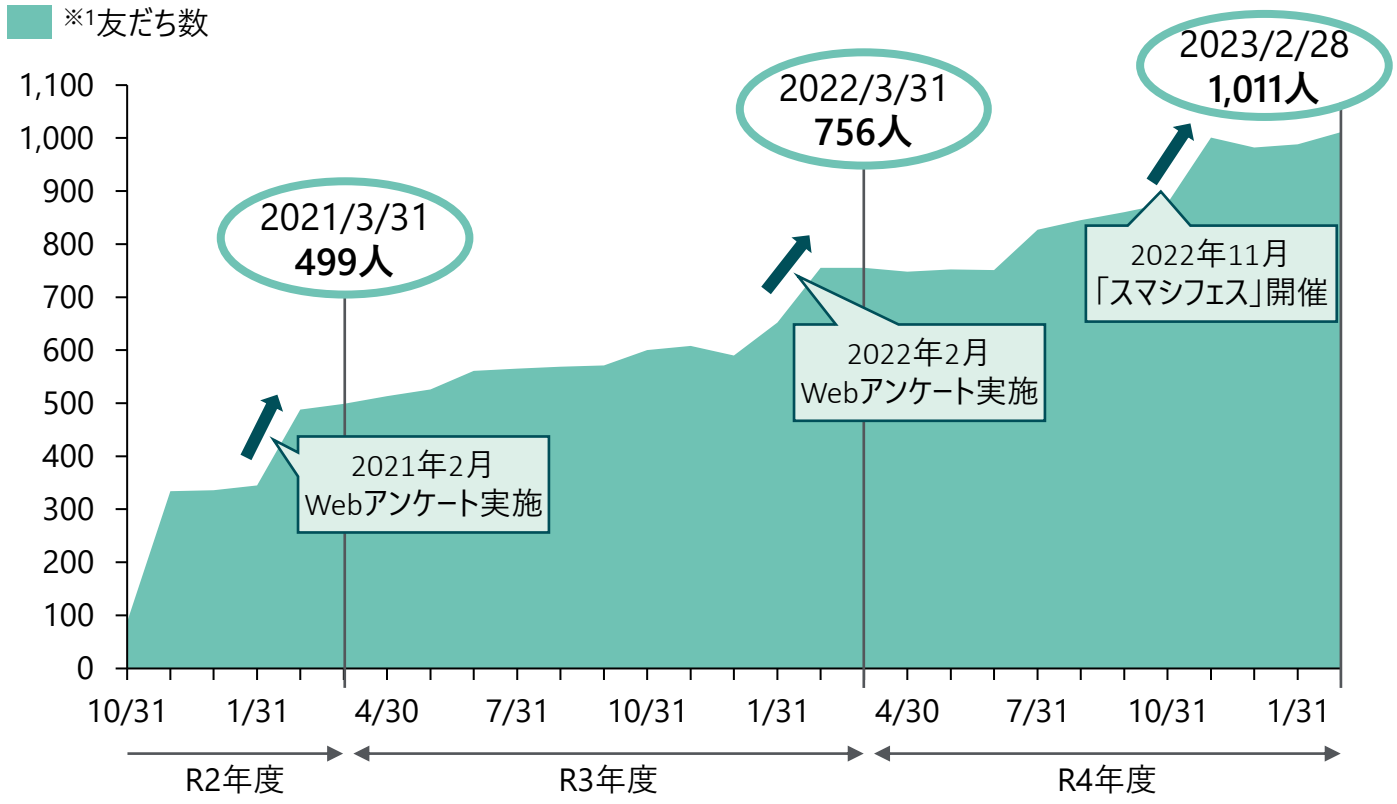
ビルでの掲載の様子

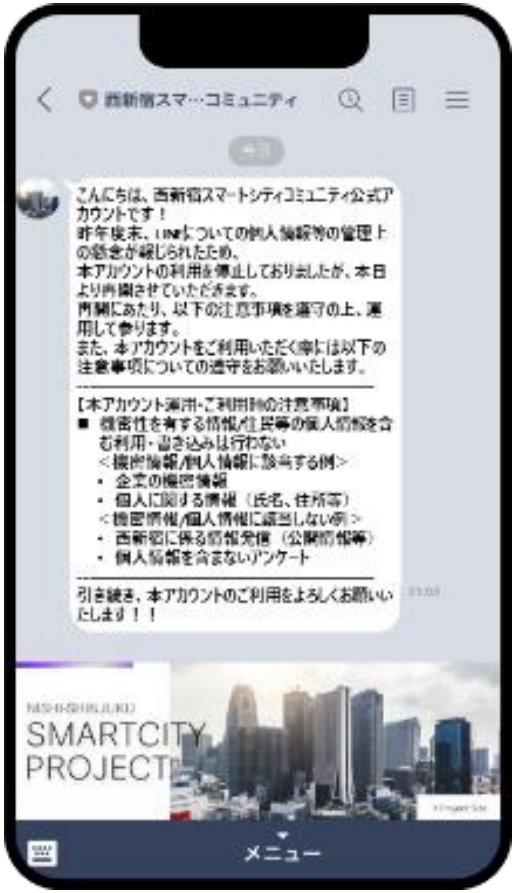
各社・団体内での配布に引き続きご協力ください

協議会LINE公式アカウントでの広報

協議会の取組に興味を持ってくれる人を増やす中で、1,011人の友だち登録を実現

LINE公式アカウント





※1.友だち数（ターゲットリーチ数）＝（登録者数 － ブロック数 － 属性不明者数）

今後の課題

【重点ポイント①】広報・巻き込み活動、発信の強化

課題

協議会の取組内容の認知度は向上の余地がある

■ 協議会の認知度※は37％となっている。幅広い就業者・来訪者・住民等に取組内容の認知してもらう必要がある

HP・LINE・スマートシティ通信の認知度	15％程度
協議会の認知度	37％

コミュニティ活動の場・機会の不足

■ コミュニティメンバーが日常的に交流する場が不足しており、コミュニティの活性化が進まない

意見交換会	5回

コミュニティ推進主体となるコアメンバーの不足

■ コミュニティを推進するようなコアメンバーが不足しており、コミュニティの拡大が進まない

意見交換会参加者数（累計）	58人
協議会LINEの友だち数	1,011人

※ 西新宿の就業者（都庁職員、エリマネ関連企業）・学生・住民を対象にしたWeb上でのアンケート

4-1.【重点ポイント①】広報・巻き込み活動、発信の強化

4-2.【重点ポイント②】プロジェクトの都市実装に向けた取組推進

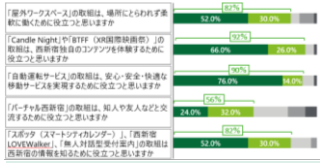
4-3.【重点ポイント③】協議会の持続的な運営に向けた検討

活動サマリ

R2年度～R4年度の活動サマリ

凡例	新しい取組
	継続した取組

【重点ポイント②】各プロジェクトの都市実装に向けた取組推進

			R2年度	R3年度	R4年度
プロジェクト組成・推進	**プロジェクト組成** 西新宿の優先課題解消に取組むプロジェクトを募集・採択	 中長期プロジェクト募集開始のお知らせ	短期実証の実施	中長期プロジェクトの推進	
	プロジェクト推進支援 各社との分科会や、合同分科会を通じて実装を支援			各PJとの分科会実施（計25回）	分科会実施（計40回） 合同分科会実施
課題・取組効果の把握	**課題把握調査** 西新宿の優先課題の状況、エリアの満足度を経年で確認	分類 / 満足度スコア（R2年度 / R3年度 / R4年度） 満足度：働く環境 3.537 −0.013 3.524 −0.025 3.499 暮らす環境 3.068 +0.219 3.287 −0.084 3.203 遊ぶ環境 2.597 +0.542 3.139 −0.071 3.068 交流環境 2.741 +0.222 2.963 −0.052 2.911 Webアンケート	アンケート設計・課題把握調査	継続的な調査	
	取組効果検証 課題解決に向けて実施した取組の効果を確認	 LINEアンケート		アンケート設計・効果検証	継続的な効果検証

【重点ポイント②】各プロジェクトの都市実装に向けた取組推進

年度後半の主な取組

- スマートシティフェスタ等での実証実施
- まちの課題の状況把握、協議会の取組の効果検証を目的としたアンケートの実施

自動運転実証の様子（環境改善委員会）

CHELULU実証の様子（レスターエレクトロニクス）

実装に向けた各プロジェクトの取組成果

中長期の課題解決プロジェクト（ 2023年3月時点） 1/2

全10件の課題解決プロジェクトを推進中

テーマ	実現される2~3年後の状態	プロジェクト名	プロジェクトリーダー	施策概要
①地域の魅力創出	平日・休日や時間帯を問わず、西新宿の特性を活かしたコンテンツを提供・体験し、楽しんでいる状態	①-1. 新宿WoW プロジェクト	odakyu ELECTRIC RAILWAY	地域資源を活用した魅力的なコンテンツの創出・コンテンツ間の連携促進
②認知度向上・地域への参画促進	個人のニーズに合った情報や地域内コミュニティ活動の情報が手に入ることで「人と人」「人と都市」がつながれる状態	②-1. コミュニティ形成・交流人口増加プロジェクト	NTT東日本	地域内外での交流活性化を図る部活動コミュニティ活動等の実施
		②-2. スマートシティカレンダー	Jorte	エリア内情報をカレンダーアプリに連携することによる情報集約と情報発信
		②-3. 西新宿LOVEWalker プロジェクト	角川アスキー総合研究所 KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc.	生活者参加型のWebメディアによるエリアの情報発信
		②-4. 無人対話型受付案内プロジェクト	株式会社レスターエレクトロニクス	ルート・イベントの案内やユーザーの声収集のためのキャラクター・インターフェイス提供

中長期の課題解決プロジェクト（ 2023年3月時点） 2/2

全10件の課題解決プロジェクトを推進中

テーマ	実現される2~3年後の状態	プロジェクト名	プロジェクトリーダー	施策概要
③移動環境の整備	誰もがニーズに合った移動方法を選択し、ゆとりある空間で、安心・快適にエリア内を移動できる状態	③-1. 次世代モビリティプロジェクト	SOMPO 損保ジャパン	西新宿の魅力スポット、ワークスペースをつなぐ次世代モビリティの提供
④新たなワークスタイルの確立	特定のオフィスに限らず快適に働ける環境があり、エリア内外のワーカーが高い生産性で働けている状態	④-1. 西新宿CAMPプロジェクト	Tomorrow, Together KDDI TAISEI 大成建設 For a Lively World KDDI KDDI Research	先端技術を備えた屋外ワークスペースやジョブマッチングプラットフォームの構築
⑤エリア共通基盤の整備	エリア内の実証や各種サービス実装に必要となる共通基盤（ハード・データ・ルール等）の利活用が円滑かつ迅速にできる状態	⑤-1. 西新宿TSUNAGUプロジェクト	一般社団法人 新宿副都心エリア環境改善委員会 東京都	各プロジェクトの拡大に係るエリア共通基盤の整備
		⑤-2. “スマエネ”プロジェクト	TOKYO GAS TGES	建物BEMSデータと連携した需給最適制御の推進
		⑤-3. データ利活用プロジェクト	JTOWER 東京電力パワーグリッド NTT東日本	スマートポールからの取得データを活用したユースケースの発掘・サービスの提供

実装したプロジェクト一覧

Candle Night/XR映画祭/ XRラボ「NEUU」

odakyu ELECTRIC RAILWAY

■ **キャンドルの装飾・設置等を通じて西新宿を盛り上げる市民参加型イベント（平成30年から継続）**
※令和4年12月開催

■ **XR（VR、AR）作品に特化した国内最大級の国際映画祭（第3回）**
※令和4年11～12月開催

■ **XRをテーマにクリエーターを集積**
※令和4年11月開設

西新宿LOVEWalker

角川アスキー総合研究所 KADOKAWA ASCII Research Laboratories, Inc.

■ **「西新宿LOVEWalker」を通じて、地域情報や記事を配信**
※令和2年開設
- 地域と一緒に連載記事展開（16企業・団体）

地域情報発信アプリ

Jorte

■ **プッシュ配信可能なカレンダー型情報発信アプリ**
※令和4年11月リリース

バーチャル西新宿

NTT東日本

■ **メタバースプラットフォーム「DOOR」にて、バーチャル空間上での交流を促進**
※令和4年12月リリース
- 構築済み団体
  - 西新宿スマートシティ協議会
  - 損保ジャパン
  - 工学院大学

新宿WoWプロジェクト｜小田急電鉄株式会社

各取り組みが活性化。各取り組みがハブになり、さらなるコンテンツの呼び込みを推進

今年度の取組内容

【XR映画祭（Beyond the Frame Festival）】

- XRに特化した国際映画祭を開催
  ［オフライン/オンライン］
  （11/17～12/16）
- 海外のプロモーター等とのトークイベントも開催

【Candle Night @Shinjuku central Park】

- 地域を巻き込んだ参加型イベントの実施
  （12/24、25）
- 地域の30団体強と連携

【新宿中央公園におけるｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ創出】

- 新宿中央公園検定の実施（4/21～6/30）
- しんじゅくこどもまつり（5/15、8/7、11/27、2/25）、
  プロギングイベント（2/25）等の開催

KPIの達成状況・取組成果

※（）内はKPIの目標値

【XR映画祭】

- 連携プレイヤー数：地域外５（地域内外各１）
- 提供コンテンツ数：１（2コンテンツ）
- 体験ユーザー数：オフライン190名、オンライン約1万7千再生

【Candle Night】

- 連携プレイヤー数：地域内１、地域外３（地域内外各１）
- 提供コンテンツ：３（2コンテンツ）
- 体験ユーザー数：約4,000名　※うち女性約６割

【新宿中央公園におけるｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ創出】

- 提供コンテンツ数：３（2コンテンツ）
- 体験ユーザー数：総数約3,000名

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

- 国際的なXR映画祭としての地位固め及び持続的な実施体制作りを推進し、**西新宿におけるXRの象徴的なイベントを目指す**
- 西新宿における冬のイベントとして定着してきている**Candle Nightをハブとして更なる連携を推進**
- **コンソーシアムの取り組み等と連携した更なるアクティビティ創出を推進**

コミュニティ形成・交流人口増加プロジェクト｜東日本電信電話株式会社

課題解決を図る仕組みとして、メタバースを使ったバーチャル西新宿を立ち上げた。リアル×バーチャルでの交流を促進しながら、今後はルームの増加・プロモーションの強化を図っていく。

今年度の取組内容

【バーチャル西新宿の開設】

- 12月に「バーチャル西新宿」を立ち上げ
- リアルに限らず、バーチャル空間上での交流を機会を創出
- 都庁都民広場、新宿中央公園等を再現し、バーチャル内での回遊も促進

【企業・団体のルーム開設】

- 損保ジャパン様：社史コーナー
- 工学院大学様：防災クイズ
- スマートシティ協議会様：取り組み紹介

KPIの達成状況・取組成果

【KPIの達成状況】

- 今年度は特に設定せず

【取組成果】

- 6団体へルーム制作に関するお声がけを実施

＜制作済み＞左記の3団体

＜検討中＞3団体（2023年度1Qを目処に検討・準備中）

・クリアソン新宿様
・芸団協様
・京王プラザホテル様

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

- 認知度と活用機会の向上を目指し、**プロモーションの強化が必要**
- 次年度は**リアルイベント連動にも取り組む**
- 当面NTT東日本が運営を担うものの、**将来的には自走化を目指す**

スマートシティカレンダープロジェクト｜株式会社ジョルテ

西新宿情報カレンダーの実施、アプリ化、マチカレの展開

今年度の取組内容

【西新宿情報カレンダー】

- カレンダーに西新宿のイベント情報を集約したサイト、アプリの提供
- イベントだけでなく、ギャラリーや飲食店の情報もスクロールしてみることができるのが特徴

【マチカレ】

- 西新宿で集めたイベント情報を一覧表示や検索ができるサイトを展開
- 今日、何がある、何ができるというのを直観的に探すことができるサイト

KPIの達成状況・取組成果

※（）内はKPIの目標値

【サービス利用者】

- 利用者数：235人（5,000人）

※ サービスを磨いている段階で、プロモーションの実施はできていない

【連携施設】

- 未実施（100カ所）

※ サービスを磨いている段階で、施設への展開は実施できていない

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

- 西新宿のイベント情報をリスト表示する**「マチカレ」をオープンし、情報の見せ方や探し方などを工夫**
- 意見交換会でのニーズを踏まえ、**情報の選別やコミュニティで活用できる機能などを実装予定**
- データ収集に手間がかかるという課題があり、**特定分野にターゲットを定め、継続的な利用につながるシーンを見つける**

西新宿LOVEWalkerプロジェクト｜角川アスキー総合研究所

西新宿における様々な情報発信を通して、コミュニケーションやビジネスが生まれる場所へ

今年度の取組内容

【Youtube生放送】

- 西新宿スマートシティをテーマに、Youtube生放送を実施、宮坂副知事にも出演を頂き、西新宿におけるスマートシティの取り組みを分かりやすく解説
- 現在までショートver含め、約1.5万再生

【西新宿スマートポール事業】

- 西新宿に設置されているデジタルサイネージ型スマートポールにて、西新宿LOVEWalkerとコラボした飲食店のクーポン情報を配信

KPIの達成状況・取組成果

※（）内はKPIの目標値

【地域関連企業・団体発信の連載記事】

- 連携企業および団体数：16（20）
  ※KDDI総合研究所様は現在進行

【西新宿LOVEWalkerを起点としたコミュニティやイベントの実施】

- Youtube生放送再生回数：約1.5万再生
- 意見交換会や勉強会の実施

⇒ 意見交換会では、メディアの作り方について、活発な意見交換が行われ、西新宿LW記事執筆にも前向きな姿勢を見せて頂いたので、次回も是非開催させて頂いて、企業や行政だけではなく、一般の方々にも情報発信ができるメディアにしていきたい

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

- 西新宿の情報発信メディアとして、企業および一般ユーザーに対しての認知向上が進み、**メディア連携やプロジェクトが進展**
- 西新宿LOVEWalkerを通じた**コミュニティの醸成やイベント参加**を促進すべく、**各プロジェクトリーダー企業との連携を模索**

対話型受付案内プロジェクト｜株式会社レスターエレクトロニクス

公共空間にフォーカスしたインバウンド対応やエンタメ機能への追加開発

今年度の取組内容

【展示会】

- スマートシティフェスタにて案内デモを実施

【ビジネス状況】

- 23年度、千葉の商業施設での本運用への移行が決定、夏以降に名古屋でのPOC開始

【開発】

- 利用者データ分析などに特化した自社データベースの環境構築を完了
- BIツール（Tableau、AWS Quick Sight）のダッシュボード構築を完了

KPIの達成状況・取組成果

※（）内はKPIの目標値

【キャラクターエージェント“CHELULU”を用いた対話型受付案内の実現】

- スマートシティフェスタでの1日の利用者数：150人以上（50人）

※データ分析結果の共有による有用性の評価を頂く

⇒・3 日間の利用シナリオ：1,685シナリオ
・一人当たりの利用シナリオ：5～10シナリオと想定

展示会情報だけでなく周辺情報（飲食店、街の魅力など）に対する要望が多かった為、今後設置する際はイベント・エリアの両軸でコンテンツ充実をはかっていく

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

【実装】

- **協議会参画事業者との取り組みが進んでいない**
- **公共空間の案内に際して多言語化の課題**があり、投資、開発範囲を検討中

【開発】

- Chat GPTなど**大規模言語モデルの活用に向けた開発**を開始（23年度上期でのデモ実装目標）
- **他社構内マップアプリとの連携開発**の検討を開始（23年夏の実装）
- **多言語化に向けた検討**を開始

次世代モビリティプロジェクト｜損害保険ジャパン株式会社

西新宿における自動運転サービス実装に向けた取り組みを加速

今年度の取組内容

【自動運転タクシーの実証実験実施】

- 新宿副都心エリア環境改善委員会と連携した自動運転タクシーの実証実験を実施
- 都知事や街づくりの関係者を含む計353名の方が試乗
- 11月25日（金）～27日（日）には「スマートシティフェスタ」に来場した一般者も試乗、イベント時の臨時の移動手段としての有効性を検証

走行ルート

都知事試乗時の様子

KPIの達成状況・取組成果

【乗車アンケートの満足度】

- 目標値：90％以上満足
- 実績：概ね目標値を達成

①乗り心地⇒97％　②ヒヤリハット有無⇒89％
③有人運転との比較⇒93％ ④実装への期待感⇒100％

【歩行と比較した場合の移動時間の効率化】

- 目標値：50%以上短縮
- 実績：時間での計測ではなく、利用ニーズの確認を実施

①駅⇔公園の常時運行になった場合のニーズ⇒84％
②イベント時の移動促進への貢献⇒94％

【有償チケット発行への意見】

- 目標値：「購入する」が50％以上
- 実績：サービスモデル上運賃収受を想定していないため確認せず

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

- **自動運転サービス**が①魅力づくり②回遊性向上③道路リメイクの観点から**「まちづくり」に活用できることを確認**
- 路駐車や停車場所の確保などの**課題が明確化**し、**実装に向けて行政との連携/協議が必要**
- **新宿副都心エリア環境改善委員会にプロジェクトリーダーを変更**し、取組を加速
- **実証実験を定期的に実施**し、ヒトを呼び込むことで西新宿エリアの活性化に貢献

西新宿CAMPプロジェクト｜KDDI・大成建設・KDDI総合研究所

ワーカーが高い生産性で働けている状態を目指し、内省空間の有効性検証を実施。
今後、KDDI総合研究所の研究活動を通じて事業化・スケーリングを目指す。

今年度の取組内容

【内省空間の有効性検証】

- 働き方全体のアップデート
  自己成長・価値観アップデートをし続けるワークスタイルの実現に向け、高い効果の内省（リフレクション）を行える空間の実証を実施

KPIの達成状況・取組成果

※（）内はKPIの目標値

【KPI達成状況】

- ワークスペース稼働率　　：75%（50%）
- ワークスペース再利用意向：80%（75%）

【取組成果】

- 関係者実証の実施
  日程　　：2023年2/22(水)~3/14(火)
  場所　　：新宿中央公園
  参加者数　：関係者26名
  参加者の声：「焚き火の映像を眺めると集中できる感覚があった」
- 情報発信
  ①西新宿LOVEWalker（角川アスキー総研様）と連携し、本PJの参加者インタビュー等を記事化・掲載予定
  ②KDDI総合研究所HPでも本PJの実施報告を掲載

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

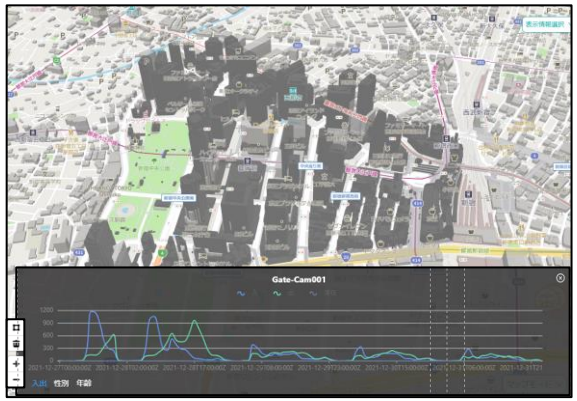
- **非日常空間の、内省への有効性を検証できた**
- 事業化・スケーリングに向けては、**テンポラリオフィス設置のオンデマンド性向上が課題**
- **計画通り2023年3月をもってPJを終了**するが、得られた知見を活かしつつ**課題解消の上で社会実装を目指す**

西新宿TSUNAGUプロジェクト｜新宿副都心エリア環境改善委員会・東京都

スペース利活用申請におけるエリアOSの有用性が確認でき、実装に向けては細かなUI・UXの改善に加え、データ提供者を含む運用体制の検討・構築が必要となる

今年度の取組内容

【エリアOS実証】
- オープンスペースの利活用促進に向け、対象とするハードアセットやデジタルアセットを集約し、その管理・運用方法を検討
- ハード/デジタルアセットを利用する際のプロセス、特にオープンスペース調整のフローを整理し必要となる機能を実証



【ビジネスモデル検討】
- エリア共通基盤を管理運用する組織体制やビジネスモデルを検討

KPIの達成状況・取組成果

※（）内はKPIの目標値

【エリアOS実証】
- 利用ユーザー数：5件（10件）
- 利用できるデータ種数：8種類（6種類）
  - ① オープンスペース　② 人流　② 環境
  - ④ 街区　⑤ 移動サービス　③ 利用者
  - ⑦ 2Dマップ　⑧ 3Dマップ
- 検証結果（コメント）
  - ✓集約されたエリアデータ閲覧の使い勝手が良い
  - ✓スペース調整に必要な機能は概ね搭載されている
  - ✓より詳細なデータ掲載やUIの改善がなされるとなお良い

【ビジネスモデル検討】
- 中長期的な取組推進体制を構築するため必要となるファイナンスモデルを整理し、課題と実現に向けた時間軸を検討

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

【エリアOS実証】
- **オープンスペースの調整に必要なデータ、機能を実証し有用性を確認**
- 実装に向けては多様なデータの収集に向けた**取組の有用性についての理解醸成とUIの改善が必要**

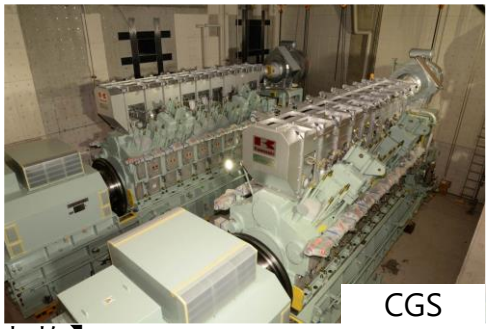
【ビジネスモデル検証】
- 持続可能な推進体制の構築に向け、**関係各所との協議を通じたファイナンスモデルの実現が必要**

“スマエネ”プロジェクト｜東京ガス・東京ガスエンジニアリングソリューションズ

電力需給逼迫への対応は順調に推移しており、引き続き柔軟に対応
BEMSに関しては、対象となるビルにBEMS導入状況に関するアンケートを実施し、結果から見えてきた現状の課題に対して、次年度はモデルビルを選定し対応策の運用を検討

今年度の取組内容

【電力需給逼迫への対応】
- 地域冷暖房プラント内のCGSの稼働率を高め、発電した電力を外部へ供給
（電力市場への供給）


CGS

【実態調査（アンケート）の実施】
- 西新宿地区のビルに対してアンケートを送付し、BEMS状況等を確認

KPIの達成状況・取組成果

【電力需給逼迫への対応】
- プラントの電気使用状況により、最大8000kW程度を電力系統へ送電
※8000kW：一般家庭2,670軒分の電力使用量に相当（3kW/軒にて算定）

【実態調査（アンケート）の実施】
- 地域冷暖房地区内の対象ビル（24ビル（意識調査回答数：13ビル、BEMS取得データ回答数：7ビル））に対して、BEMS導入状況についてアンケートを実施
⇒アンケートにより、BEMSデータを活用する上で、人的リソース・知識・ノウハウの不足が課題となっていることが判明

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

- **電力需給逼迫**への対応は、**次年度も柔軟に対応**
- **需給最適制御の推進**について、次年度はアンケート結果から判明した課題に対して、**モデルビルの選定と対応策を実施**
  - ✓ 課題：BEMS活用、共用部空調の省エネ、需要側と供給が独立して運用等
  - ✓ 対応策：専門家によるエネルギー分析、空調温度設定の変更、BEMS情報と供給情報を用いた需給の最適化の検討等

データ利活用プロジェクト｜JTOWER・東京電力PG・NTT東日本

今年度はスマートポールの取り組みを業界団体等へ発信。今後、具体的にサービス提供を目指す企業との連携を深める必要がある。

今年度の取組内容

【スマートポールに係る取組発信】
- LBMA Japanにおけるプレゼン
- 西新宿5Gコンソーシアム参加事業者へのプレゼン
- スマートポール活用事業採択者との協議
- デジタルツインカンファレンスへの登壇
- 事業者への個別アプローチ（20社程度）

【PoCの検討】
- Wi-Fiプローブデータを活用した人流ダッシュボード
- 気象データと連携したコンテンツをサイネージへ掲出
  ※当初2案を検討していたが、前提としていたスマートポール活用事業への採択が叶わず実施を断念

KPIの達成状況・取組成果

※（）内はKPIの目標値

- ユースケースの発掘・実施：未達（2件）
  ※実績：ユースケース4件（サービスPoCは0件）
  ※プロジェクトへの参加は4社から承諾
- データ利用料支払意向確認：未達（2件）
  ※ユースケースと連動のため

結果考察・実装に向けた課題・次年度方針

- 取組を通じ、サービス提供に向けた**重要な課題が明らかになった**
  - ✓ 人流データとしては**取得箇所が少なく西新宿エリアの傾向がつかみにくい**
  - ✓ 新規開発または既存サービスの改修などの**コストを掛けてまで利用する価値が現時点では見出せない**
- 次年度は、**協議会の各プロジェクトおよび5Gコンソーシアム参加事業者と連携し、開発中サービスへの活用可能性を模索**

課題・認知度把握、取組効果検証の概要

アンケート調査の実施概要

西新宿の方々やコミュニティメンバーを対象にアンケート調査を継続実施することで、まちの課題や、協議会活動の取組効果を把握

	課題/認知度の把握		効果検証
	アンケート①	アンケート②	アンケート③
目的	■優先課題の状況を把握 ■エリア満足度を確認し、要因を把握	■協議会や広報・巻き込み活動の認知度を把握	■課題解決に向けて実施した取組の効果を検証
調査内容	■課題の解決状況 ■エリア満足度 ■エリアのイメージ	■協議会の認知度 ■広報・巻き込み施策の認知度	■取組に対する満足度 ■取組に対するニーズ
対象者	■西新宿の方々（居住者・通勤者・来街者）		■コミュニティメンバー※1
調査方法	■Webアンケート調査		■LINEアンケート調査
調査期間	■2023年2月17日～3月2日		■2023年2月15日～22日
回答者数	■1,819人		■50人
協議会活動への反映方法	■協議会で取り組むべき優先課題を設定し、解決策を検討・実施	■認知度を踏まえ、協議会で取り組むべき広報施策、巻き込み施策を検討・実施	■課題解決プロジェクトや協議会の取組の方向性を確認し、取組内容をブラッシュアップ

※1.協議会公式LINEのお友だち

アンケート結果サマリ

アンケート結果サマリ・考察

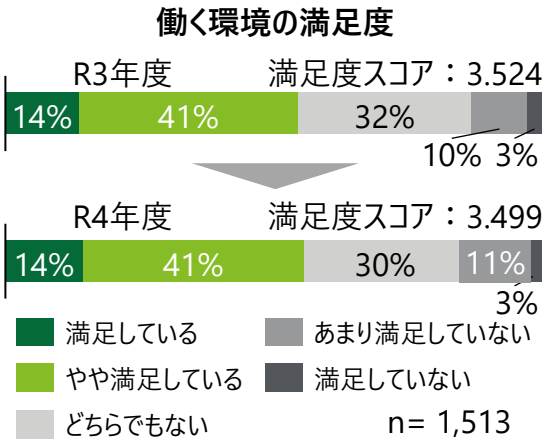
協議会の取組は、まちの課題解決に役立つことを確認できており、今後はサービス実装を増やし西新宿の人々が実感できるレベルで、まちにサービスを根付かせていく必要がある

課題/認知度の把握

アンケート①

結果概要

充足度*1、満足度*2は横ばいで推移



考察

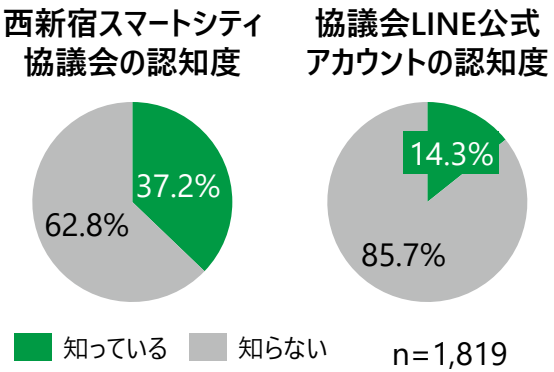
サービス実装や実証体験を増やし、”西新宿の人々が実感できるレベル”で、まちにサービスを根付かせていく必要があるのではないか

アンケート②

結果概要

協議会の認知度は約37%

LINEの認知度は約14%



考察

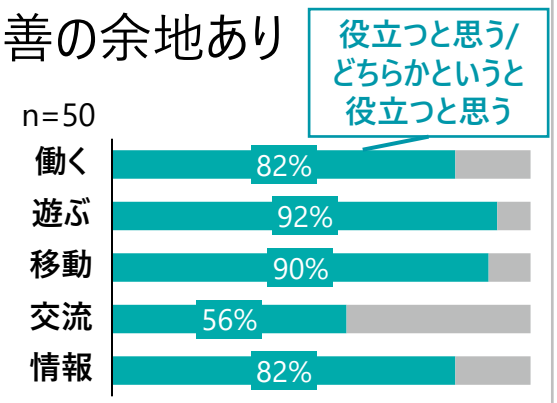
情報発信を通じて協議会や取組の認知度を向上させる中で、”まちの変化の可視化”に取り組む必要があるのではないか

効果検証

アンケート③

結果概要

各プロジェクトは課題解決に役立つと感じてもらえているが、「交流」は改善の余地あり



考察

西新宿の人々の交流機会をより充実させていく必要があるのではないか

＊1：西新宿の各課題に対して充足しているかを調査
＊2：西新宿の「働く」「暮らす」「遊ぶ」「移動する」「交流する」「情報収集する」環境に満足しているかを調査

今後の課題

【重点ポイント②】各プロジェクトの都市実装に向けた取組推進

課題

実装したプロジェクトの維持・定着が必要

■ 各プロジェクトが精力的に活動を行っているものの、実装したプロジェクトの定着に向けた取組が必要

組成したプロジェクト	10件	実装したプロジェクト	4件

プロジェクト間や事業間の連携が少ない

■ 協議会を通じて他プロジェクトや西新宿他事業の取組は共有しているものの、連携して生まれたサービスが少ない

プロジェクト連携	3件

都市OSのユースケースが少ない

■ ユースケースがオープンスペースの利活用のみで、ユースケースの多様化が必要

ユースケース検証	1件

4-1.【重点ポイント①】広報・巻き込み活動、発信の強化

4-2.【重点ポイント②】プロジェクトの都市実装に向けた取組推進

4-3.【重点ポイント③】協議会の持続的な運営に向けた検討

活動サマリ

R2年度～R4年度の活動サマリ

凡例
- 新しい取組
- 継続した取組

【重点ポイント③】協議会の持続的な運営に向けた検討

R2年度 〉 R3年度 〉 R4年度 〉

ファイナンスモデル・組織体制の検討

ファイナンスモデル検討
協議会活動を通じた収益確保に向けたモデルを検討

組織体制検討
持続的な協議会運営実現に向けた体制を検討

検討
未着手

他エリア
ヒアリング

短期・中長期
スキーム検討

再整備方針の
策定に向けた連携

協議会
組織体制案
の策定

関係者
への
説明

【重点ポイント③】協議会の持続的な運営に向けた検討

年度後半の主な取組

- 西新宿地区再整備方針の策定に向けた連携
- 来年度の他事業との連携および協議会組織体制の検討

西新宿地区再整備方針

方針 1【都市機能】	多様な機能の交流・融合を促進する機会や場の充実による新たな付加価値の創出
方針 2【都市空間】	西新宿グランドモールを骨格軸としたウォーカブルな都市空間の構築
方針 3【環境・防災】	次世代都市インフラの創出による環境にやさしく強靭なまちの実現
方針 4【デジタル】	デジタルの力で質の高いサービスを提供するスマートシティの実現
方針 5【まちの運営】	持続的発展と価値向上につながるエリアマネジメントの実現

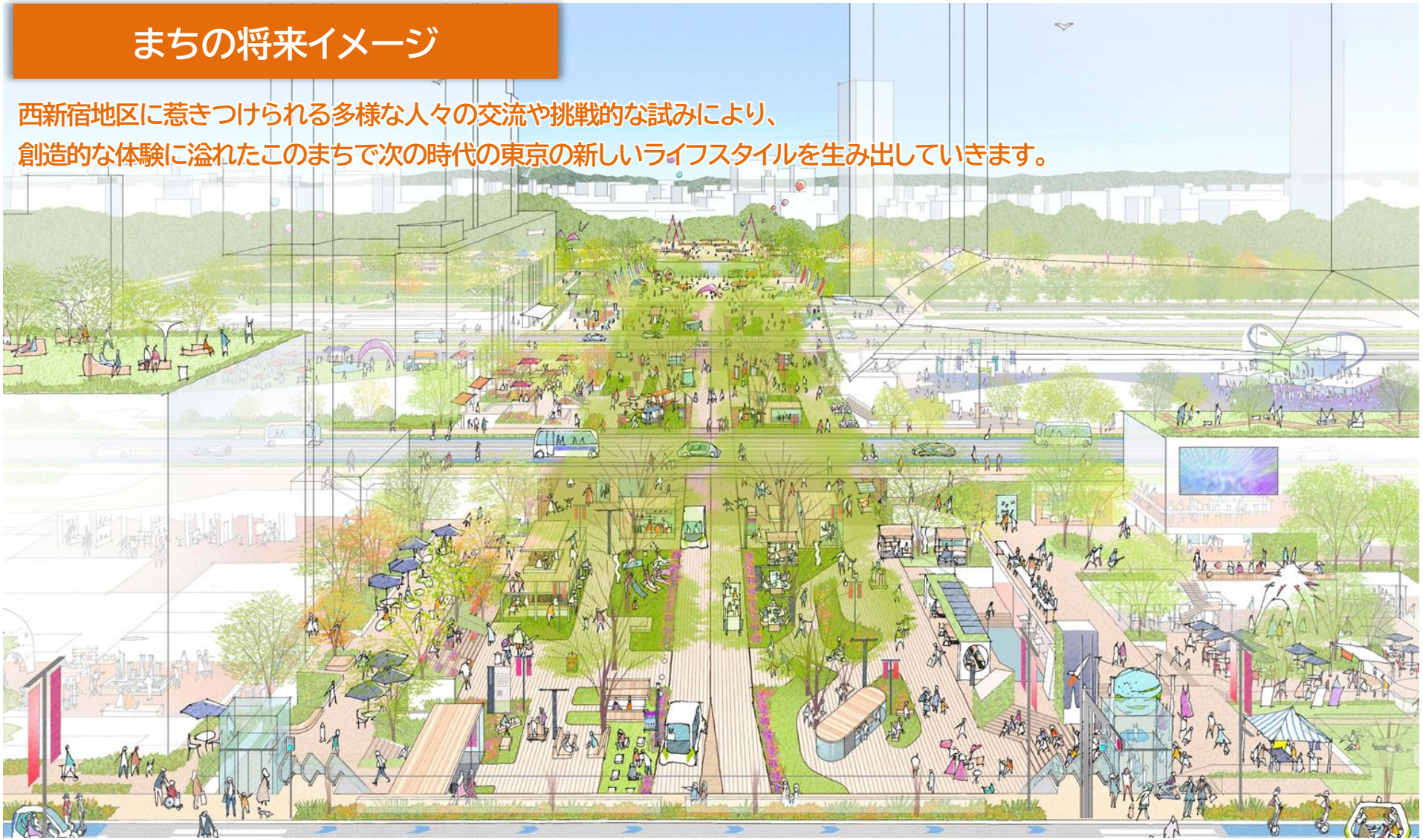
※西新宿地区再整備方針
：https://www.city.shinjuku.lg.jp/kusei/toshikei01_000001_00048.html

西新宿地区再整備方針

スマートシティ化を実感できるまちの将来イメージを共有

まちの将来イメージ

西新宿地区に惹きつけられる多様な人々の交流や挑戦的な試みにより、
創造的な体験に溢れたこのまちで次の時代の東京の新しいライフスタイルを生み出していきます。



西新宿におけるマネタイズスキーム実現方針

他エリアで実現済のスキーム構築と並行し、中長期的な新しいスキーム実現に向け検討

現状

都費とエリマネ会費で
賄っているが、都費が大半な状態

- エリマネ会費（環境改善委員会）
- 西新宿スマートシティ協議会事業費（東京都）

西新宿ですでに実現できているもの

短期的な目線（1～3年）

他エリアで実現/実装している
スキームの実現

	1	行政手続き手数料（地権者）
イベント	2	スペース利用料（民間企業）
イベント	3	イベント協賛金（広告主）
イベント	4	サービス利用料（西新宿の方々）
会費	5	コミュニティ会費（民間企業）
会費	6	コミュニティ会費（西新宿の方々）
	7	広告費（広告主）
	8	事業費・補助金（行政）

関係者との協力により実現し得るもの

中長期的な目線（2～5年）

他エリアで検討/実証されている
次世代スキームの実現

9	データ利活用サービス利用料（民間企業）
10	キャピタルゲイン・テストベッドフィー*（民間企業）
+	
-	デジタル基盤整備・運営負担費（行政）

**仕組み等を新たに
作り上げる必要があるもの**

【注釈】キャピタルゲイン：エリア内で取組を行う際のスペース利用料等を即座に支払うことが困難な事業者の債権・株式を取得することで、中長期的に回収する手法
テストベッドフィー：エリア内で事業者が実証的取組を行った場合、その取組を他エリアに展開した際の収益の一部を受け取る手法

課題

【重点ポイント③】協議会の持続的な運営に向けた検討

課題

実効性のあるマネタイズスキームの確立が必要	■ 他エリアへのヒアリング等を通じ、マネタイズの可能性があるスキームの検討を開始し、短期的及び中長期的な目線での財源確保策を確認 ■ より実効性のあるマネタイズスキームの確立が必要
協議会組織体制等の見直しが必要	■ 西新宿地区再整備方針の実現に向け、方針 4 に記載されている取組をより推進するためには、目標の設定と目標達成に向けた効率的・効果的な組織体制等が必要

5.今後の方針

西新宿地区再整備方針（方針4）

方針 4 【デジタル】	デジタルの力で質の高いサービスを提供する スマートシティの実現

4－① 市民参加・企業参加による最先端のまちづくりへ挑戦

○デジタル技術を活用して、まちのニーズを把握・共有し、課題解決に向けて、就業者や来街者、居住者、学生など西新宿を訪れる誰もが参加できるコミュニティを形成するなど、市民や企業等がまちづくりに参加できる機会や場を創出します。

○スタートアップ企業や市民などに対して、デジタル技術の実験・体験の場や機会を創出し、様々な課題の解決等につながるデジタルサービスの実装を図ります。

○都市のデジタルツインを活用し、まちの情報をデジタルアーカイブとして残すとともに、未来の都市像を可視化するなど、市民や企業等にまちの情報を分かりやすく発信します。

○XRやメタバース等の最先端技術を活用し、新しいライフスタイルにつながるデジタルコンテンツを生み出し、まちの魅力を創出します。

○既存施設の壁面等にデジタルサイネージを整備し、分かりやすい案内情報やまちの魅力、災害情報などを機動的かつ効果的に発信します。

出典：大成建設株式会社

※スタートアップ企業
新たなビジネスモデルを開発する企業で、市場を開拓する段階にあるもの
※デジタルツイン
センサー等の取得データから道路・建物等のインフラ、経済活動、人の流れなど様々な現実空間の要素を、仮想空間上に再現したもの
※デジタルアーカイブ
重要文書や文化資源の情報を長期保存することを目的としてデジタル化すること
※XR
VR(仮想現実)・AR(拡張現実)・MR(複合現実)・SR(代替現実)など、現実世界と仮想世界を融合して、新しい体験を作り出す技術の総称
※メタバース
コンピュータの中に構築された3次元の仮想空間やそのサービス

4－② デジタル技術を活用した次世代の交通・物流システムを実現

○電車やバスなど複数の交通手段のデータ連携によるMaaSの実装や自動運転技術の進展、居心地の良い待合場の創出などにより、シームレスな交通体系を実現します。

○歩行者優先の交通システムや自動運転などの技術進展を踏まえ、歩行者中心の都市空間の形成を図ります。

○既存駐車場等の利用実態を把握し情報提供を図り、効果的な駐車場管理や多様なモビリティの駐停車場等としての活用を検討します。

○自動配送技術の開発動向を踏まえて、物流の効率化、交通負荷低減、既存駐車場等の利活用など交通・物流体系の在り方について検討します。

○AR等を活用し、分かりにくい移動経路のナビゲーションや、目的地情報等の提供を行います。

出典：西新宿スマートシティ協議会

出典：東京都

※MaaS（Mobility as a Service）
一連の交通サービスとしてモビリティの最適化を図るため、複数の交通手段を組み合わせ、アプリ等により一括検索・予約・決済を可能とする取組
※AR（拡張現実：Augmented Reality（オーグメンテッドリアリティ））
現実空間に仮想世界を重ねて投影して見せる技術

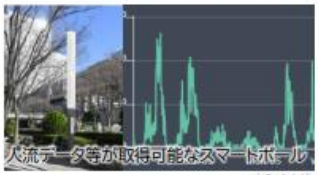
4－③ 多様なデジタルサービスが実装されるスマート街区を実現

○最先端の共通通信インフラにより屋内外問わない快適なワークスペースを創出するとともに、非常時の案内誘導や災害時にもつながる強靭な通信環境の整備を推進します。

○まち全体のエネルギーマネジメントや防犯・感染症対策のほか、環境の見える化など、まちと調和したスマートビル・スマート街区を実現します。

○データドリブン社会を見据え、地区内の基幹的サービスとして、人流・気温データ等の都市情報を経年的に取得・蓄積し、広く共有・活用を図ります。

出典：一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会



出典：東京都

※データドリブン
得られたデータを総合的に分析し、未来予測・意思決定・企画立案などに役立てること

西新宿スマートシティ協議会等は・・・

- ✓ 中長期的なまちの再編を視野に入れ、方針4で先取りした姿を実現する
- ✓ 関連する3つを**重点分野**として取り組む

①スマートサービス	②コミュニティ	③データ利活用

取組方針｜【新たな重点分野①】スマートサービス

課題

- 実装したプロジェクトの維持・定着が必要
- プロジェクト間や事業間の連携が少ない

【目標（KGI）】
まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装

取組方針

多様な主体者がつながり、挑戦的かつ迅速なスマートサービスの実装に向けた支援を提供する

- スマートサービス実装に向けたコンソーシアム等への促進支援
- 取組の連携を促す体制の構築
  （既存の10プロジェクトを３つの重点分野
  （スマートサービス、コミュニティ、データ利活用）に再編）
- エリマネとして重点的に取り組むサービスを検討（移動交通など）

※画像引用元：政府広報オンライン｜「移動」の概念が変わる？新たな移動サービス「MaaS（マース）」（2020/11/19）

取組方針｜【新たな重点分野②】コミュニティ

課題

- 協議会の取組内容の認知度は向上の余地がある
- コミュニティ活動の場・機会の不足
- コミュニティ推進主体となるコアメンバーの不足

【目標（KGI）】
多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

取組方針

デジタル技術を用いて、多様なコミュニティとの連携や双方向コミュニケーションを実現する

- SNSやWEB等を組み合わせた戦略的な情報発信
- 意見交換会などで商店会や大学等からアイデアを募集し、イベント等で実現するなどして、コミュニティを活性化
- 多様な人々（就業者・学生・住民・来訪者）との新たなデジタルコミュニケーションツールの先行導入

画像引用元：Decidim: From social to political network

取組方針｜【重点分野③】データ利活用

課題

- 都市OSのユースケースが少ない
- 実効性のある
マネタイズスキームの確立

【目標（KGI）】
エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進

取組方針

都市OSの新たなユースケース拡大を検討するとともに、マネタイズスキームの確立に向けた検討・関係者調整を推進する

- オープンスペース利活用以外の都市OSのユースケース検討（例：移動など）
- 短期的及び中長期的視点でのマネタイズスキームの検討・関係者調整 など

取組の方向性｜西新宿スマートシティ協議会

魅力ある西新宿の実現に向けて、デジタル技術を活用し、スタートアップを含む産官学が連携しつつ、学生や子供など多様な人々の意見を反映し、市民のQOLの向上を目指す

【重点分野ごとの目標（KGI）】

① まちの課題解決や魅力向上に役立つスマートサービスの着実な実装

② 多様な人々が参加する地元主導のまちづくりコミュニティの充実

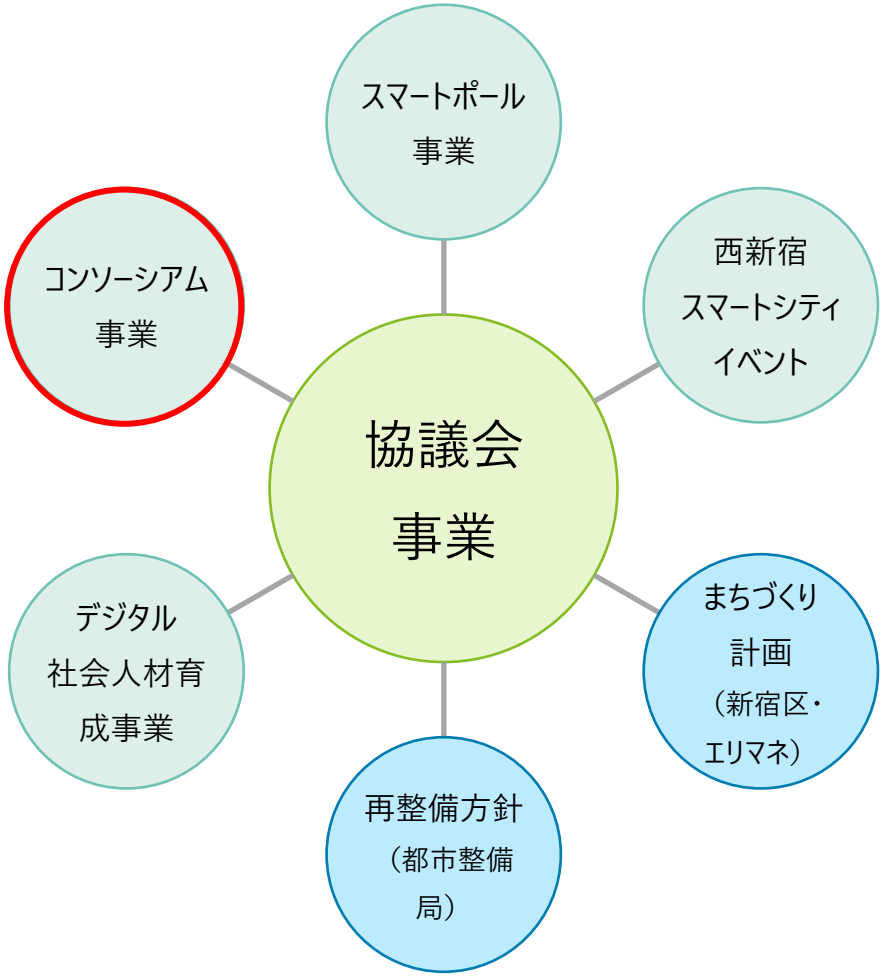
③ エリア内の様々な都市情報を活用するデータ利活用の推進

協議会とその他西新宿事業・取組との連携体制

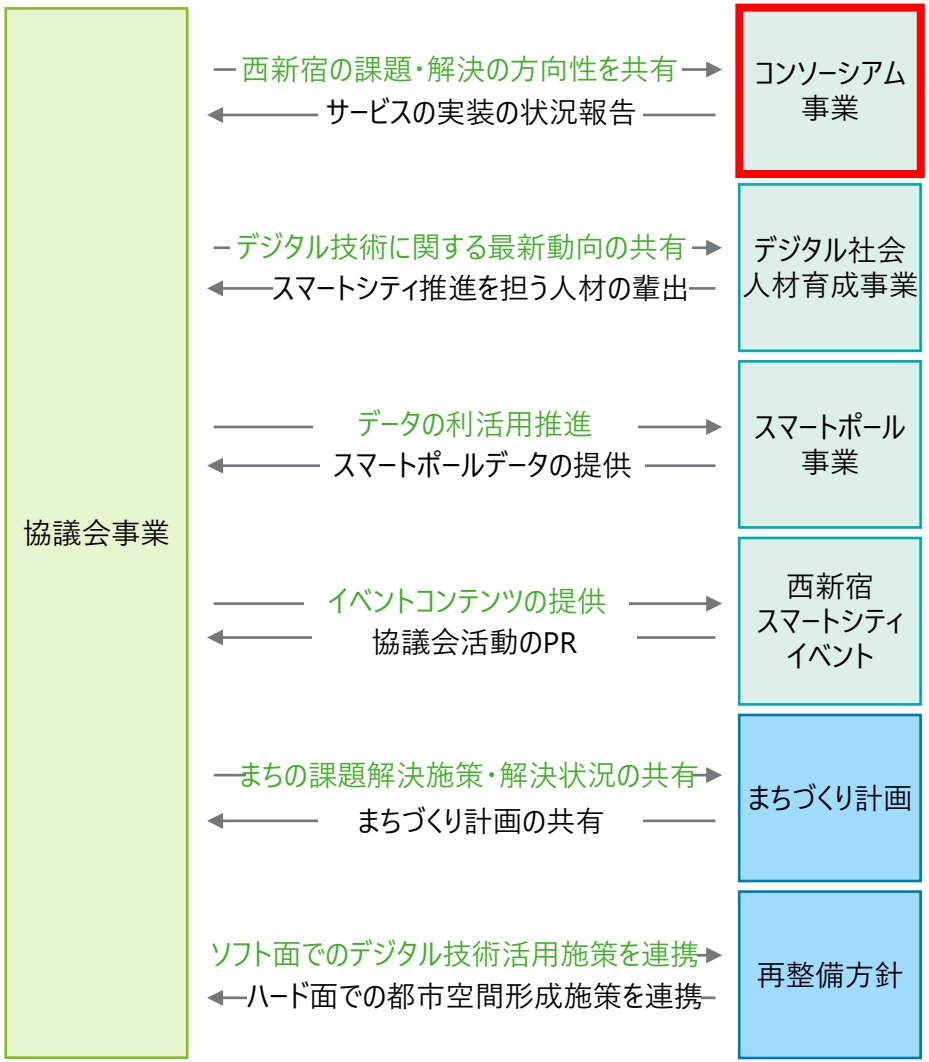
凡例
- 協議会事業
- デジ局別事業
- 都市整備局事業・エリマネ活動

協議会を西新宿の情報連携のハブとして位置づけ、来年度以降、特にコンソーシアム事業との連携強化に努める中で、一体となった西新宿のまちづくり、スマートシティ推進を目指す

西新宿関連事業

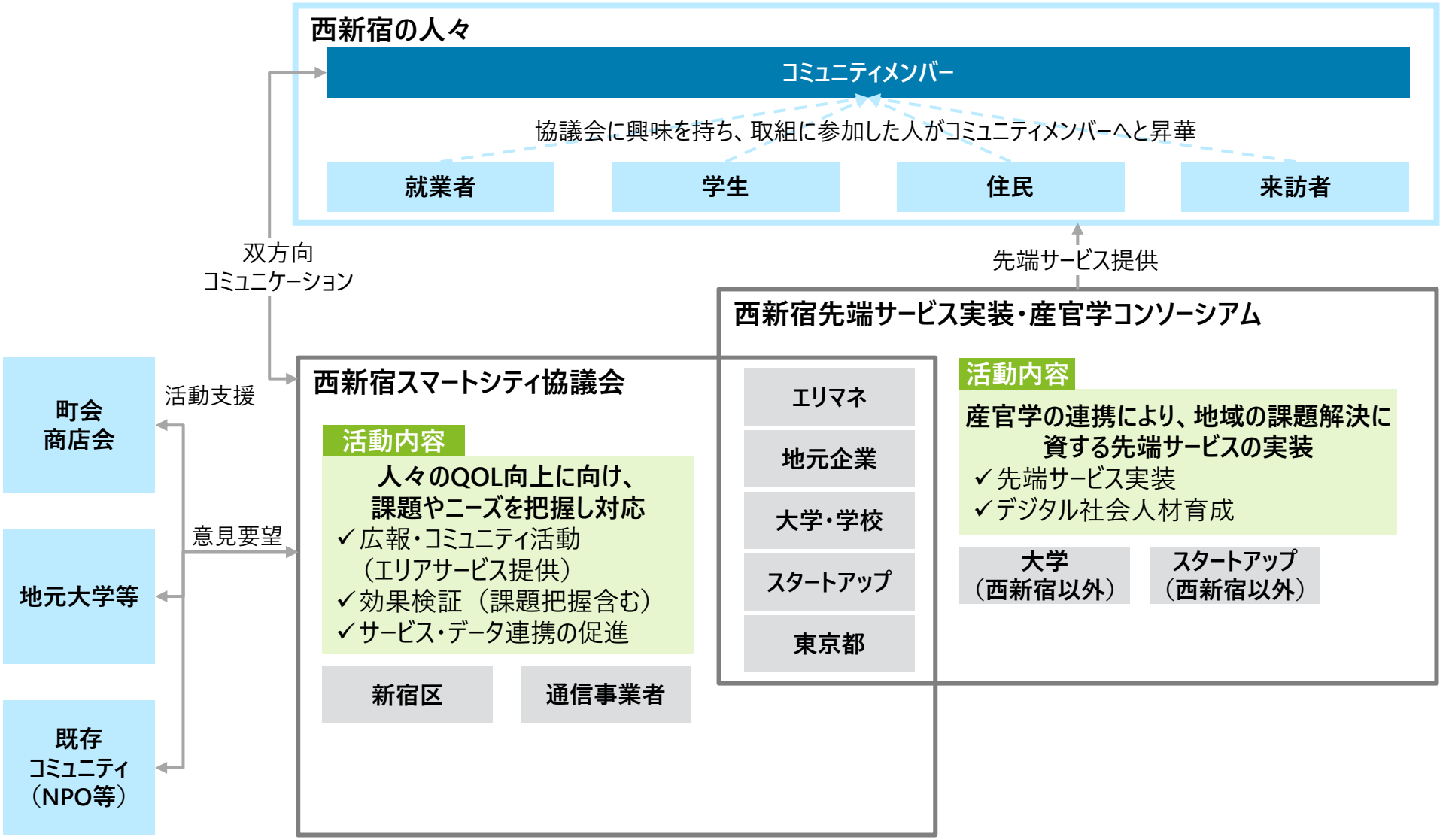


協議会との関係性



協議会とコンソーシアムの目指す関係性

広報とコミュニティ活動を行う協議会と先端サービスを実装を目指すコンソーシアムは、
より一層連携を強化し、西新宿のスマートシティ化を推進する



令和5年度以降の西新宿スマートシティ協議会の組織体制

R5年度以降、スマートサービス、コミュニティ、データ利活用の3点を重点分野と定め、協議会の組織体制を再編し活動を推進していく

現在の組織体制

- ■ タスク毎にPT/TFを設置しているが、基本的に参加者が同一となっており有効に機能していない
- ■ 検討事項がより個別具体的な内容になっている

協議会
✓ 情報共有

課題解決PT
✓ 優先課題に対する施策の企画・実行

広報・巻き込みTF
✓ 協議会の関心喚起
✓ 西新宿の方々の巻き込み

都市OS検討PT
✓ エリア共通の基盤の企画・整備

仮説検証PT
✓ 西新宿の課題・ニーズ確認
✓ 取組効果検証

運営事務局（東京都・エリマネ）
✓ 協議会の方針や体制検討

体制等の見直しが必要

令和5年度以降の組織体制

- ■ PT/TFを**部会へと再編**し、活動に適した参加者とする
- ■ 部会においては個別論点単位で**専門家のアドバイスを仰ぐ**
- ■ 先端的なサービスについてはコンソーシアム事業が実装を担う

協議会
✓ 情報共有・方向性を確認する

スマートサービス実装部会
✓ 西新宿エリアで実装したいサービスを検討し、実装を促す（コンソーシアムと連携）

広報・コミュニティ部会
✓ 協議会の認知度を上げるとともに、西新宿の方々との共創を活発化する

データ利活用部会
✓ データ利活用促進に向けた方針整理や課題の解消を行う

運営事務局（東京都・エリマネ）
✓ 協議会の方針や体制検討、地域課題の状況確認を行う

今後3か年のスケジュール（案）

		R5年度	R6年度	R7年度～
		★第1回協議会	▲City-Tech.Tokyo	
西新宿スマートシティ協議会	スマートサービス実装部会	スマートサービス実装に向けた促進支援・他事業連携支援		スマートサービスの実装
	広報・コミュニティ部会	協議会広報ツールを用いた情報発信（HP、LINE、西新宿スマートシティ通信など）		
		意見交換会・イベントを通じたコミュニティの活性化、拡大		
		【デジタル技術を用いた双方向コミュニケーション】検討・先行実施	導入	
	データ利活用部会	データ利活用促進に向けた方針整理		エリアOS構築開始
		データ利活用のユースケース拡大の検討		
	事務局	地域での自立運営への検討		自立的な運営

【R5年度第1回協議会に向けて】

- **3か年の取組と今後の活動方針のプレス発表、他自治体への情報共有**
- **部会メンバーの選定（有識者を含む）**
- **実現を目指すイメージ像・取組の数値目標（KPI）の設定**

6. 意見交換

意見交換

来年度以降の協議会活動等について、皆様の忌憚ないご意見をお願いします

意見交換のポイント

- 各プロジェクト・サービスの実装に向け、連携や協力が可能な点
- 西新宿スマートシティ協議会をより多くの人に認知いただくための広報施策、より活発なコミュニティ活動に向けた巻き込み施策に関するご意見や協力が可能な点
- 協議会組織体制に関するご意見

ルール

- ご発言の際には①ご所属、②お名前を冒頭に仰ってください
- 本討議に関する詳細（発言者名・発言者毎の発言内容等）は公開されません

協議会設立から3年目さらに魅力ある西新宿の実現に向け協議会活動を次のステージへ!!

重点ポイント	活動方針
①広報・巻き込み活動、発信の強化	■ 協議会活動の認知度向上を図る ■ 意見交換会などの取組から、協議会活動への意見の反映を図る
②プロジェクトの都市実装に向けた取組推進	■ プロジェクト間で連携することで取組や広報効果を拡充し、都市実装を促進する
③協議会の持続的な運営に向けた検討	■ スマートシティ化を実感できる実装イメージを共有する ■ 持続的な協議会運営を目指す

【参考】西新宿スマートシティ協議会設置要綱

令和2年5月15日制定
令和3年5月14日改正

（名称）
第１条 本会は、西新宿スマートシティ協議会（以下「協議会」という。）と称する。

（目的）
第２条 協議会は、西新宿に関わる団体が連携し、このエリアの課題を把握するとともに、デジタル技術等を活用した課題の解決を進め、この街に関わる方々のＱＯＬ（生活の質）の向上を図ることを目的に設置する。

（組織）
第３条 協議会は、別紙の協議会構成員をもって組織する。

（協議会）
第４条 協議会は、協議会運営事務局が招集する。
２ 協議会は、協議会運営事務局が必要があると認めるときは、協議会構成員以外の者を会議に出席させ、意見等を求めることができる。
３ 協議会の資料及び議事概要は、原則として公開する。

（プロジェクトチーム等）
第５条 協議会運営事務局は、西新宿エリアにおけるスマートシティの実現に係る諸課題を個別具体的に検討する必要がある場合は、協議会の下にプロジェクトチーム等を設置することができる。

（協議会運営事務局）
第６条 協議会の庶務は、東京都デジタルサービス局デジタルサービス推進部及び一般社団法人新宿副都心エリア環境改善委員会事務局において処理する。

（雑則）
第７条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に必要な事項は協議会運営事務局が別に定める。

附 則
この要綱は、令和2年5月15日から施行する。
この要綱は、令和3年5月14日から施行する。

7. 閉会の挨拶